



第 21 号 令和 5 年 10 月
 発行 番町小学校同窓会
 〒 102-0085 東京都千代田区六番町 8
 千代田区立番町小学校内
 TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731
 HP: <https://bancho-obog.com>
 編集 番町小学校同窓会事務局
 印刷 株式会社 精興社

創立 150 周年記念総会



総会の様子



来賓の方の挨拶



配布された土産品

コロナ禍で1年延期された創立一五〇周年記念総会が開催されました。

令和 4 年 12 月 4 日(日) 千代田区立番町小学校 講堂

〈式次第〉

1. 開会のことば
2. 同窓会会長 挨拶 豊島快兒 会長
3. 創立一五〇周年記念事業報告 西岡芳文 副会長
4. 来賓紹介 挨拶 傳田 学 番町小学校校長
中村千絵 番町幼稚園園長
5. 同窓生によるバイオリンコンサート 河井勇人
6. 懇親会
7. 校歌・記念日の歌 斉唱
8. 閉会のことば

創立一五〇周年記念総会
ヴァイオリン演奏者 河井勇人 プロフィール

河井 勇人(かわい ゆうじん) Eugene Kawai

2002年12月9日 千代田区六番町生まれ

2015年3月 番町小学校卒業 (H26)

2020年3月 千代田区立九段中等学校

5年終了

2020年4月 東京藝術大学SSP

(飛び入学) 3年在籍

2020年度宗次徳二特待奨学生



2歳よりヴァイオリンを始める。13年第67回全日本学生音楽コンク

ルバイオリン部門小学校の部東京大会第1位、全国大会第1位、横浜市
民賞(聴衆賞)、兎束賞、東儀賞受賞。15年第13回リピンスキ・ヴィエ

ニアフスキ国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(ポーラン
ド)。17年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール第10回

記念大会ヴァイオリン部門第1位(カザフスタン)。同年、米国の主要
クラシック音楽専門サイト The Violin Channel の Rising Star に抜擢・

特集される。現在、玉井菜採・野口千代光・V.トレチャコフ各氏に師
事。使用楽器は一般財団法人ITOHより貸与されているアントニオ・ス

トラディヴァリウス「Lyall」(クレモナ 1702年製)。国内外で多数
の演奏会に出演してきた。ソリストとして、東京交響楽団、ロシア・ナ

ショナル管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、プレジデン
シャル交響楽団(ロシア)、ユーラシアン・交響楽団(カザフスタン)、

中国四川交響楽団等のオーケストラと共演。また、2016年6月ウラ
デーミル・スピヴァコフ主催「Moscow Meets Friends」、2018

年5月「第2回 International Tchaikovsky Youth Festival」等、国際
音楽祭にも頻繁に招かれている。

ご挨拶

同窓会会長 豊島 快児

平素より番町小学校同窓生の皆様におかれましては、母校への多大なるご協力、ご支援を賜り心から敬意を表します。

令和5年7月1日、番町小学校同窓会会長に留任いたしました豊島快児(昭和41年度、第94回卒)です。どうぞよろしくお願いいたします。



令和2年4月に始まった新型コロナウイルスは世界中の人々を脅威に晒し、生活や行動が制限され、本年5月、およそ3年ぶりにその制限が解除されました。その3年間に私たち同窓会は令和3年12月4日に創立一五〇周年記念式典を挙行し、そして翌年、令和4年12月4日に同窓会総会を1年延期して開催することができました。しかしそれ以外の母校行事や同窓生の集いなどは中止になってしまいました。

本年、会長留任にするにあたり、番町小学校の歴史と伝統を存続、更に未来への橋渡しをしたいと思えます。具体的には、(1)会員相互の親睦の向上 (2)会員名簿の整備と会報の発行 (3)資料室、ホームページの整備と充実 (4)学年会、クラス会への支援、協力 (5)母校の式典、行事への参加 (6)その他、本会の目的の達成に必要な諸事業であります。

同窓会は皆様からの会費による収益で運営されています。諸事業の費用増加も予想される中、役員相互の結束と努力により確実な運営に努めます。

みなさまの変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げ、私の就任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 学年幹事会 報告

令和5年6月18日(日) 14時～16時
番町小学校 3階 ランチルーム

- 第1号議案 令和4年度事業報告
- 第2号議案 令和4年度決算報告
- 第3号議案 令和5年度事業計画
- 第4号議案 令和5年度予算
- 第5号議案 役員・執行部 人事

出席者 21名 返信ハガキで賛成・議長一任 68名
計89名の賛成をもってすべての議案が承認されました。

○令和4年度事業報告

- ① 創立一五〇周年記念総会 令和4年12月4日(日) 午後14時～16時
番町小学校講堂 134名参加 参加費2,500円
 - ② 学年幹事会 令和4年6月26日(日)
 - ③ 執行部・事務局会議 令和4年5月15日、7月31日、9月10日、10月8日、11月5日、令和5年1月29日、2月5日
 - ④ 同窓会U-50、OBOGの集い、新年交歓会 中止
 - ⑤ U-23 令和5年3月26日(日) 14時～16時半 番町小学校講堂
105名参加
- コロナ禍の3年間は中止だったため、今年度23歳以下の学生向け同窓会を開催
- ⑥ 会報20号発行及び発送(印刷7,000部、発送6,179通)
(在校生・教職員450通)

<令和4年度 決算報告>

令和4年度 決算報告

令和5年3月31日 貸借対照表(単位:円)

資産の部		負債の部	
手元現金	38,963	実社会、借入金	0
普通預金(みずほ銀行)	10,821	学生会・同窓会からの 寄付金	4,133,167
定期貯金(郵便)	5,600,000		
		資本の部	
通常貯金(郵便)	5,246,093	事業準備引当金	5,900,000
		次期繰越金	862,810
資産合計	10,895,777	負債・資本合計	10,895,777

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの収支計算書

1 収入の部	令和4年度決算		令和4年度予算		摘要(予算関係)	前年度決算	前年度予算
	令和4年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和4年度予算			
前期繰越金	820,661	820,661				511,531	511,531
卒業生入会金	70,000	70,000	令和4年度卒業生73名×1,000円			79,000	70,000
年会費・寄付	2,037,000	1,800,000	年会費1,348,000円+寄付689,000円			3,670,000	1,800,000
雑収入(150周年記念総会参加費)	335,000	600,000	総会参加費2,500円×134名			0	0
利息	4,116	100	100 定期貯金満期利息など			12	100
創立150周年記念総会準備金取崩	2,000,000	2,000,000				0	500,000
収入合計	5,269,777	5,290,761				4,260,543	2,881,631

2 支出の部	令和4年度決算		令和4年度予算		摘要(予算関係)	前年度決算	前年度予算
	令和4年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和4年度予算			
活動費	237,609	200,000	学生会補助(U-20)、卒業記念品、卒業アルバム、 他			85,079	800,000
活動費:150周年記念総会経費	1,297,997	2,600,000	キーホルダー213,100、ケータリング土産品 約1000、委託費22万、表彰状約50,000、他			0	0
通信費	681,537	800,000	会報送付7000部、各種案内送付、切手代			612,911	900,000
印刷事務費	232,621	500,000	封筒作成、文房具、縮込用紙作成			125,701	330,000
会報作成費	472,573	700,000	会報第20号			464,618	550,000
慶弔費	0	30,000	生花 香典代			32,710	10,000
HP関係費	163,350	170,000	HP 更新料			0	150,000
備品費	0	50,000				0	0
修繕費	0	50,000				0	0
雑費	21,480	10,000	振込手数料他			8,803	30,000
事業準備引当金 繰入	1,300,000	100,000	定期貯金100万円、普通預金30万円			100,000	100,000
150周年記念総会準備金 繰入	0	0				2,000,000	0
予備費	0	80,761				0	11,631
次期繰越金	862,810	0				820,661	0
支出合計	5,269,777	5,290,761				4,260,543	2,881,631

3 創立150周年記念事業基金

令和4年7月の同協賛会解散に伴い、残金により教育支援を目的とする基金が設立され、管理について当会が委託した。この基金は学校、同窓会、賛助会の三者が各議決の上、使用する。当会ではこの基金の出入り、残高を収支会報で明示する。

収入の部	4,634,767	協賛会からの寄付金
支出の部	501,600	テナント様(小学校に書庫)、振込手数料含む
当期末残高	4,133,167	令和5年3月31日 収支会報掲載

令和5年度予算

1. 収入の部	令和5年度予算		令和4年度決算		摘要(予算関係)	令和4年度予算
	令和5年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和4年度決算		
前期繰越金	862,610	820,661				820,661
卒業生入会金	70,000	73,000	令和5年度卒業生予定 70名×1,000円			70,000
年会費・寄付	1,800,000	2,037,000	本会年会費+寄付 総額			1,800,000
雑収入	30,000	335,000	総会、イベント参加費			600,000
利息	2,000	4,116	定期貯金満期利息など			100
150周年記念総会準備金 取崩	0	2,000,000	郵貯通常貯金内に150周年記念総 会用に残しておいた金額			2,000,000
収入合計	2,764,610	5,269,777				5,290,761

2. 支出の部	令和5年度予算		令和4年度決算		摘要(予算関係)	令和4年度予算
	令和5年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和4年度決算		
活動費	250,000	237,609	学生会補助、U-20、卒業記念品、 卒業アルバム、会報お茶代			200,000
150周年記念総会関係費	0	1,297,997	ケータリング、土産品、看板 他			2,600,000
通信費	700,000	681,537	会報送付、各種案内送付			800,000
印刷事務費	250,000	232,621	封筒作成、文房具、文書作成			500,000
会報作成費	500,000	472,573	会報第21号			700,000
慶弔費	10,000	0	弔電、香典、生花			30,000
HP関係費	170,000	163,350	HP 年管理運営費			170,000
備品費	30,000	0	資料室備品			50,000
修繕費	30,000	0	PC機器、資料室備品修繕			50,000
雑費	20,000	21,480	振込手数料他			10,000
事業準備引当金 繰入	700,000	1,300,000	定期貯金 預入			100,000
予備費	104,610	0				80,761
次期繰越金	—	862,610				0
支出合計	2,764,610	5,269,777				5,290,761

上記を令和5年度予算として提出します。
各科目の予算額に過不足が生じた場合は、会長の承認を条件として相互に流用できるものとする。

3. 創立150周年記念基金

前期繰越金	4,133,167
-------	-----------

令和5年5月20日

津田真知子

経理報告 令和4年度決算を上記の通り報告致します。

令和5年4月30日

津田真知子

監査報告 予算会通帳その他の書類を監査しました結果、正確かつ適正であることを認めます。

令和5年5月20日

前川和弘

和田一郎

- ⑦ 同期会、クラス会へのバックアップ 開催費用の一部補助 1件
- ⑧ 同窓会HP運営 記事の更新、U-23の参加希望をQRコードから受付
- ⑨ 名簿管理
- ⑩ 番町小学校行事 入学式・運動会・学芸会・謝恩会是不参加、卒業式参加
- ⑪ 愛育会行事 ラジオ体操・番町こども会・新年会は不参加
- ⑫ 資料室整備 エレベーター設置による資料室の移転
令和4年3月30日に新資料室を設営

○平成4年度収入

年会費 676件 1,348,000円
 寄付 162件 689,000円 合計 2,037,000円
 入会金 令和4年度卒業生 73名 73,000円

○令和5年度 事業計画

- ① 学年幹事会 令和4年6月18日(日) 14時～16時 実施済
- ② 執行部・事務局会議
- ③ 新資料室整備 実施済
- ④ 会報21号の発行及び発送
- ⑤ 同期会、クラス会へのバックアップ (開催費用の一部補助)
- ⑥ 同窓会HP更新
- ⑦ 名簿管理
- ⑧ 番町小学校行事への参加
- ⑨ 愛育会行事への参加
- ⑩ その他 本会目的のための事業

《新役員体制》

会長 豊島 快兒 (昭和41年度)

副会長 西岡 芳文 (昭和44年度) 瀬谷 達郎 (昭和47年度)

竹川 勝治 (昭和49年度) 石原 修 (昭和46年度)

事務局

事務局長 明石 寿夫 (昭和48年度) 遠藤 努 (昭和58年度)

渡 洋二郎 (昭和35年度) 中川 純 (平成7年度)

大沼 英之 (昭和54年度) 藤本 貴也 (平成7年度)

瀬川 あかね (昭和46年度) 二神 明平 (平成12年度)

嘉納 英樹 (昭和52年度) 鈴木 亜優美 (平成22年度)

会計 古澤 正夫 (昭和42年度) 本木 京子 (昭和42年度)

監査 和田 一郎 (昭和39年度) 金子 順一 (昭和39年度)

顧問 新井 巖 (昭和30年度) 岩瀬 裕全 (昭和36年度)

令和4年度・令和5年度前期 (2022.4/1~2023.9/30) 同窓会寄付者名簿 (敬称略)

令和4年度 (2022.4/1~2023.3/31)

氏名	ID	金額
松島紗英子	H25-228	23,000
岩瀬秀郎	S19-121	20,000
米澤龍太郎	S63-124	15,500
渡辺知明	S48-428	10,000
鳥居 明	S41-226	10,000
藏田隆之	S43-112	10,000
降籬史子	S19-331	10,000
山田素行	S54-424	10,000
石原 修	S46-303	10,000
木村仁美	S42-347	10,000
高橋 遠	S37-425	10,000
藤井宏昭	S20-131	10,000
瀬谷祐一	S16-331	10,000
渡辺知明	S48-428	10,000
小野里輝夫	S21-123	10,000
平野 透	S16-306	10,000
三輪玄二郎	S38-535	10,000
松本澄夫 (ご家族)	S18-252	10,000
笠木 俊	S34-445	10,000
濱田 泰 (御家族)	S14-248	10,000
成川 澄	S46-226	12,500
北村 正	S44-414	10,000
河野元嗣	S47-315	10,000
新井 巖	S30-202	8,000
藏田丑男	S15-343	8,000
瀬在 明	S52-115	8,000
西嶋良信	S36-427	8,000
中部謙一郎	S43-330	8,000
松本豊和	S35-235	8,000
吉岡 璋	S30-361	8,000
杉 大次郎	S29-122	8,000
川北 学	S51-210	6,000
富士滋美	S35-623	6,000
渡辺滄子 (ご家族)	S14-402	6,000
林 潤洙	S44-130	5,500
川村知重	S31-212	5,500
遠藤英樹	S63-106	5,500
高梨直樹	S56-216	5,500
竹内信良	S43-325	5,500
世耕行夫	S43-520	5,500
相澤憲子	S36-654	5,500

氏名	ID	金額
碓 淳吉	S41-205	5,000
吉永幹子	S30-314	5,000
高杉卓志	S41-221	5,000
松井英輔	S60-121	5,000
牛丸 譲	S36-304	5,000
末光晃子	S33-142	5,000
田中由利子	S43-355	5,000
殿岡晟子	S20-228	5,000
石原広子	S25-153	5,000
渡邊愛佐	H20-231	5,000
西岡芳文	S44-127	4,000
鮫島和子	S33-346	4,000
堤 恵利子	S46-242	3,500
末光晃子	S33-142	3,000
河合松太郎	S47-311	3,000
幸坂靖子	S30-155	3,000
福山正和	S33-131	3,000
海老原順子	S42-342	3,000
豊島快兒	S41-224	3,000
杉田 隆	S41-121	3,000
荒川秀夫	S23-101	3,000
佐々木深雪	S44-444	3,000
原 美鈴	S42-246	3,000
石橋義通	S42-504	3,000
服部篤彦	S49-226	3,000
塚脇愛理	H19-230	3,000
塚脇彩加	H22-220	3,000
塚脇朱梨	H24-129	3,000
水谷洋子	S19-333	3,000
柳澤仁那	H27-231	3,000
柳澤洋美	S50-139	3,000
小原正幸	S51-413	3,000
星野雅信	S42-228	3,000
坂本 歩	S48-411	3,000
杉村信寿	S44-117	3,000
植芝恭子	S35-157	3,000
内野 実	S41-109	3,000
井上良夫	S33-305	3,000
島村隆一	S31-218	3,000
中 眞知子	S34-658	3,000
小池郷子	S41-545	3,000
大石義和	S42-204	3,000
高橋寿子	S42-355	3,000
今井英之	S59-202	3,000
岩瀬琢郎	S32-205	3,000

氏名	ID	金額
宮脇信介	S47-131	3,000
岡野洋三	S41-209	3,000
武田健二	S33-219	3,000
久保川幹夫	S43-511	3,000
石黒麻利子	S48-243	3,000
井上善雄	S51-407	3,000
太田一誓	H29-204	3,000
太田直努	R03-213	3,000
對間康二郎	S51-120	3,000
對間啓人	H24-215	3,000
金 民世	S50-109	3,000
宮島敦史	S49-229	3,000
佐羽美穂子	S18-307	3,000
一木俊吾	H15-204	3,000
山田眞之助	S42-236	3,000
長岡 真	S44-329	3,000
杉山充洋	S60-112	3,000
磯貝しま	S20-917	3,000
中山康子	S40-446	3,000
金子康雄	S40-108	3,000
尾原愛理彩	H28-901	3,000
澤田展志	S42-319	3,000
坪倉 栄	S44-548	3,000
桃原侑平	H18-125	3,000
中山久子	S44-453	3,000
岡本幸憲	S33-111	3,000
鈴木淳彦	S39-221	3,000
白倉洋一	S63-104	3,000
丸田明利	S50-422	3,000
福井悠史	H14-323	3,000
山岡照吾	S30-133	3,000
正木美樹子	S20-930	3,000
香川久美子	S31-252	2,000
飛田貞子	S16-136	2,000
今津幸雄	S40-104	2,000
知野光雄	S35-319	2,000
山地平二郎	S33-531	2,000
森 慶太	S45-132	2,000
清水昭和	S23-117	2,000
藤本英夫	S36-630	2,000
山田 千晶	H28-122	2,000
田原純子	S49-440	2,000
藤本 操	S38-328	1,500
渋沢 修	S42-114	1,000
梨本実花	H14-318	1,000

氏名	ID	金額
山根 勉	S33-436	1,000
田原 績	S45-424	1,000
梶谷 博	S17-418	1,000
遠藤 毅	S45-204	1,000
布村行雄	S56-122	1,000
布村文雄	S58-319	1,000
布村定雄	S24-108	1,000
布村道雄	S62-216	1,000
土方 純	S38-226	1,000
宮崎かをる	S13-406	1,000
曾根康司	S59-311	1,000
三輪田 真	S38-129	1,000
山根 勉	S33-436	1,000
市村有紀子	S61-131	1,000
市村美桜子	H28-203	1,000
住田英夫	S28-313	1,000
勝俣みきえ	S56-430	1,000
永田 穰	S20-156	1,000
大嶋幸子	S33-249	1,000
斉藤裕康	S38-316	1,000
森 勇乃祐	H24-229	1,000
梶谷 博	S17-418	1,000
本間 暁	S60-419	1,000
毛利太一	H24-227	1,000
秋山恒美	S18-101	1,000
仁井田雅子	S29-147	1,000
葛谷信美	S45-413	1,000
丸山一義	S59-421	1,000
渋沢 修	S42-114	1,000
的場 駿	H16-328	1,000
秋元寿明	S38-401	500
		689,000 円

令和5年度前期 (2023.4/1~2023.9/30)

氏名	ID	金額
中里晴彦	S40-326	1,000,000
中里泰子 (ご逝去)	S38-147	
佐野正子	S44-152	2,500
田中啓子	S18-318	1,000

合計165件 1,692,500 円

* 年会費のお振込と共にご寄付をいただき誠にありがとうございます。

クラス会・同期会報告

「番町しのぶ会」

昭和38年度6年3組 大堀（旧姓成瀬） 貴子



昭和三十八年度6年3組卒業の私たちは、卒業時に、クラス会名を「番町しのぶ会」と名付けました。

二〇二三年六月二十四日(土)、四年ぶりにミニクラス会を開きました。本当は、2年前の七十才の時に、古希のお祝いを兼ねて集まりましたが、コロナ禍のため実現出来ませんでした。

この四年間の空白時に、一番クラス会を楽しみにしていた仲間が亡くなり、また大病を患ったり、連れあいをなくしたり、職を離れたりと、様々な形で身の回りの変化がありました。今回は、連絡のとれる方だけしか誘うことができませんでしたが、この記事を読まれた同級生は、是非、同窓

会事務局にご連絡ください。次回は、十一月十七日(金)横浜中華街で会うことを決めています。その時は、今回よりも更に参加者が増えていることを祈っています。

「同期会報告」



昭和46年度 岡添 龍介

令和4年12月4日(日)に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1年延期されて開催された、創立一五〇周年同窓会総会の終了後に、主婦会館プラザFで同期会を開催しました。まず、3組の野崎利之君の開会の挨拶に続いて、来賓として参加して下さった4組担任だった土井靖子先生からご挨拶をいただきました。その後3組の石原修君による乾杯の発声があり、各組ごとのテーブルに分かれての懇親タイムとなりました。

話も一段落したところで、各組の幹事から出席者の紹介が行われました。その後、校歌、創立記念日の歌を皆で斉唱し、また2組の瀬川あかねさんの提案で、急遽「運動会のうた」を斉唱することとなりました。それから幹事の津田真知子さんから、各組担任だった先生方の現在の状況が報告され、来賓の土井先生に、全担任の先生を代表して花束を受け取っていただき

ました。最後に全員で集合写真を撮影し閉会となりました。閉会後は各組それぞれに2次会へと向かったようです。また機会があれば、学年全体として同期会を開きたいと思います。



昭和の時代 番町小学校の運動会で歌われていた「運動会のうた」

「合同クラス会報告」

昭和41年度卒業 2組 & 5組

開催日 2023年6月10日(土)

場所 ホテル龍名館東京 レストラン花ごよみ

参加人数 2組14名 5組13名 合計27名

幹事 2組 碓・豊島

5組 浜田・小池(福原)・村田

2組報告

昭和41年度 碓 淳吉

2組では、「わくわくの同窓会」だよって連絡しまくったのに、2組の女子はうらんちゃんだけ：

わくわく寂しいじゃん！ と思ったけど、一方の5組は聡子ちゃんも幹事で女子華やかメンバー満載。

それでも同窓会欠席ハガキやメールで、滅多に会えない憧れのマドンナはほぼ全員から、常連のしんちゃんとか男の子からも近況お便り満載でした。同窓会効果絶大。

当日は欠席コメントをコピーして出席のお友だちに配りました。3次会でも別れが惜しい同窓会、またの開催も楽しみ。えっ！「またの」：この言葉を聞くと2組のまさみちくんが番町の門をくぐるとき、「小学生はまたげない！」って言ってたよね。「また毛」の下ネタ、いつも笑ってたね。「番町頑張れ組」の頭の中は今も昔もおバカなこといっぱい。亡くなったお友だちも奥さんと仲良く笑顔で写真参加、嬉しい。その場になくても同窓会は楽しいこといっぱい。みんなでまた、同窓会の門をまたぎましょう。

5組報告

昭和41年度 村田 秀美

久しぶりの東京駅八重洲口。来るたびに景色が変わるけど、迷わずクラス会の会場へ到着。今日は2組と5組の合同クラス会。そろそろ開宴時間ともなると徐々に出席者も集まり始め、各々顔を見合わせ開口一番「君はだれ?」この歳になると、顔を見ただけではわからない。名札を見て「老眼」で読めない。お互いに名前を確認しあって「久しぶり〜!」「元氣〜?」としばし立ち話。

亡き同級生に黙祷を捧げた後に開宴。乾杯、食事と続く頃にはもはや自由に席を移動しての歓談、というか騒々しさも格段に上昇。皆、耳も遠くなっているのを再認識。そしてやはり話題は「健康問題」が多いようだ。宴半ば、会場の主「龍名館」浜田社長や有志の皆さんに景品をご提供いただき全員に景品が当たる豪華福引も開催。1等の食事券1万円は5組の某氏が獲得! お互いの身体を気遣いながらも終始明るくなごやかなクラス会。再会を約束して一次会は散会。

その後は二次会どころか三次会までの猛者も20名ほど:古希直前、お疲れ様でした!



「クラス会に出て感じたこと」

昭和58年度 遠藤 努

コロナ前の令和元年10月5日、高石晃嗣君(3年生のクラス替えて出会った大切な友人)の音頭で、昭和58年度6年2組のクラス会がありました。我々は今年52歳となる学年で、参加者は12名。四ツ谷駅近くの「嘉賓^{かひん}」で中華を食べながら近況報告と「思い出の○○話」に花を咲かせました。人は皆成長し続けるのか? お酒の力なのか? 懐かしい出来事は解釈が1ミリ動く度に大盛況。お店を「れんや」に移し、席替えで気分と話題が転換した二次会では、家事・育児など家庭のことから、職場や母校の近況を加えた昨今の教育現場が抱える課題にまで広がりました。

私事で恐縮ですが、母校創立140周年頃から祖母と母親の介護(二人とも見送りました)が、コロナ禍の緊急事態宣言の頃からは、父親の見守りが続いています。ですから日々の介護ストレスから逃げさせるクラス会はとて有り難い。同じ釜の飯を食う仲間同士で忌憚なく情報交換して、明日への活力チャージができる地域の貴重な居場所です。同窓会活動のお手伝いも然り、イベントで出会う方々とは、学びや育ちの環境だけでなく価値観や考え方が遠くかけ離れていることもあります。とは言え、童心に戻る「番町こども会」の駄菓子屋さんブースでは、笑顔と笑顔が交わされる瞬間、身内やご近所さんのような距離感に縮まります。この不思議な感覚をご縁と呼んで良いのか分かりませんが、私は同窓会が導く「顔の見えるつながり」になります。番町小学校同窓会のお手伝いを通じて自分の内側に引きこもっていた「病氣」が、社会で働くための「勇氣」に生まれ変わった。私にとって同窓会は、私を育て直してくれた「新しい大家族」のような存在、感謝感激です。ありがとうございます!!



大勢のお子さんで賑わいます



令和5年9月9日に行われた番町こども会



同窓会は駄菓子屋さん



傳田校長先生

山根氏

学研究所所長の國中均さん（昭

ジェクトを担った、現・宇宙科

意にしている「はやぶさ」プロ

ます。ちなみに、山根さんが懇

「はやぶさ2」についての著書

も広く読まれ映画化もされてい

プロジェクトを担った、現・宇宙科

学研究所所長の國中均さん（昭

ジェクトを担った、現・宇宙科

意にしている「はやぶさ」プロ

ます。ちなみに、山根さんが懇

「はやぶさ2」についての著書

も広く読まれ映画化もされてい

プロジェクトを担った、現・宇宙科

学研究所所長の國中均さん（昭

同窓生来訪

山根一真さん（昭和34年度卒）の巻

同窓会副会長 西岡 芳文

今年の初めごろ、学校に1通のファックスが届きました。同窓生の山根一真さんから、手許に残る小学校時代の資料を学校に寄贈したいとのこと。資料室の管理のお手伝いをしている同窓会に回送されてきたのはしばらく後のことでした。そういうお申し出はたいへんありがたく、3月2日に傳田校長先生と資料室担当の同窓会副会長西岡がお目にかかって資料を見せていただくことになりました。

山根一真さんといえば、科学・技術系のノンフィクション作家、科学ジャーナリストとして多数の本を書かれ、かつてNHKテレビのキャスターも務めた方です。1980

年代に一世を風靡した「スー

パー書齋」シリーズでは、情報

整理術の新しい方法を提唱し、

長期にわたる週刊誌連載『メ

タルカラー』の時代』では日本

企業の技術革新の進展を分かり

やすく社会に発信されていま

す。小惑星探査機「はやぶさ」



山根氏

西岡副会長

和47年度卒)、初の国産H-2ロケットを手がけ「日本のロケットの父」と呼ばれる五代富文さん(昭和19年度卒)も番町小学校の卒業生だそうです。

いっぽうアマゾンへの興味も深く、たびたび現地でもフィールドワークを重ねて、地球環境の問題を精力的に発信されています。2005年の愛知万博では総合プロデューサーを勤められました。

現在は福井県の三方五湖のひとつ水月湖から採取された7万年に及ぶ地球環境の変化を跡づける「年縞」の調査・研究を行なっている県立年縞博物館の特別館長を務められ、生態系協会や宇宙航空研究開発機構・理化学研究所など、幅広い科学分野にまたがるキーパーソンとして御活躍中です。

山根さんが番町小学校にお持ちくださった昔の資料は、在学中の愛育会誌『番町』のセットや、クラスごとに制作された文集、山根さんが学校で制作した絵画作品をていねいに製本したものなど、戦後復興に見通しがつき、ベビーブーマー世代で児童数がいちばん多かった時代の番町小学校の教育活動を裏付ける貴重な資料の数々でした。まだお宅には未整理の資料が残っていて、クラス新聞「たけのこ」や旧友と一緒に制作した月世界探検の紙芝居、1年生の時の夏休みの絵日記などがあり、整理が終わったとのこと追って持ってきていただけそうです。

山根さんはクラスの中で「新聞委員」になって熱心に学級新聞を作られていて、その中には宇宙開発に関する記事が多かったそうで、小学生

時代にすでにライフワークの片鱗をあらわしておられたようです。当時の理科の先生の優れた指導によって大きく科学的なものの見方を教えられたこと、学校帰りの四谷の土手で植物や動物に親しんで科学的好奇心を養ったことなど、懐かしい思い出話を聞かせてくださいました。

お持ちになった資料の中に、『アサヒグラフ』1957年2月10日号が混じっていました。見開きで番町の創立記念日に一斉に風船を空に放つ児童たちの姿がカラーで収録されていて、左下の赤い風船の右上に写っているのが山根さんだと教えていただきました。この時代のカラー写真というのは珍しいですね。

実は山根さんは、お父様の代からの番町同窓生だそうです。お父上の山根能文(章弘)さん(昭和5年度卒)は東京音大で美学を教えられた研究者だったそうですが、「折形」というきれいに紙を折り畳んで進物を包む武家故実の宗家として、礼法教室を主宰されていました。また戦後すぐの時期に人形劇団「テアトル・プッペ」を創設し、さらにそのスタッフとともに東映動画に移籍して、日本初の長編アニメ「白蛇伝」を企画、その制作に携わったとのこと。宮崎駿さんら、後にスタジオ・ジブリを起こしたアーティストたちがここから巣立ったことを考えると、日本アニメの先駆者としても重要な役割を果たされたこととなります。

折形の礼法教室は一眞さんの弟・山根一城さん(昭和36年度卒)が受け継いで今も続いているそうです。一城さんは外資系企業で活躍され、日本コカコーラの副社長までなされた方だとか。

こうした多彩な活動をされている山根家に残された番町小学校時代の遺品は、整理好きでしっかりとらしたお母様によって保存されてきたようです。老朽化した校舎におおぜいの児童がひしめきあっていた時代の番町の活力をうかがわせる資料として、大切に保管し、現在・未来の番町の児童たちに見せたいものと思います。

山根さんの御厚志に感謝しつつ、同窓生の皆さまに御披露いたします。



愛育会会報誌「番町」



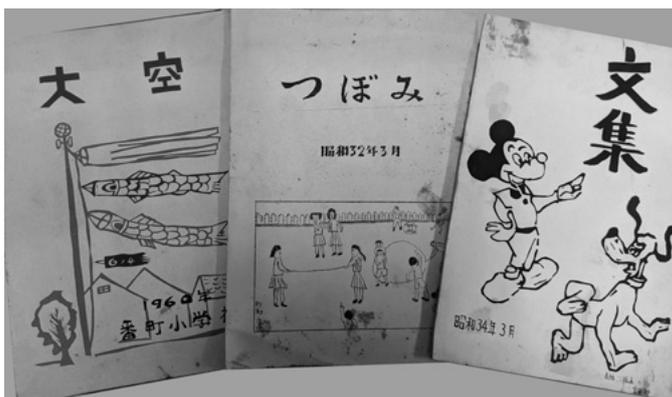
アサヒグラフ表紙



創立記念日に風船を飛ばして祝う番町の児童たち
〔アサヒグラフ〕1957年2月10日号



山根さんの作品集



クラス文集

<山根氏より寄贈された資料の一部>



〒102-0085
東京都千代田区六番町8 番町小学校
「番町小学校同窓会 資料室係」宛

○お家で眠っている番町小学校・幼稚園の卒業アルバムや愛育会機関誌「番町」、小学校時代の印刷物、行事写真などありましたら、同窓会資料室へ寄贈お願い致します。

「見学予約連絡先」

番町小学校 (03-3263-3721) または
番町小学校同窓会 (080-3012-1001)

○新しく「記念資料室」を開設しました。何時でも見学できますが、番町小学校に見学の予約をして下さい。1階左へ進み奥の右側の教室です。

○令和5年度より執行部役員のメンバーが変わり、新体制となりました。新しい時代のニーズも取りいれながら、同窓会運営を行ってまいります。

お知らせ

○本会は、皆様からの年会費で運営しております。(学生の方は年会費免除)

会報と共に年会費・寄付用の振込用紙を同封しております。

お振込頂く場合、振込用紙に年会費、寄付の金額を記入してください。

ご寄付頂く場合、会報にお名前等の情報が記載されても良いかどうかのレ点チェックをお願いします。

○ご住所、お名前等の変更がございましたら、振込用紙でご連絡頂くか、左記までご連絡下さい。

番町小学校同窓会HP <https://bancho-obog.com>

お問い合わせコーナーまで

番町小学校同窓会(080-3012-1001)



編集後記

・還暦を超えて、また立ちかえる小学校。外堀の向こうは番町、こちら四谷で何十年も過ぎた。同窓会を支える旧友のキムコと一緒に仕事をするのが、なんとも楽し。(S)

・♪みんなで作ろう、ぼくらの番町を〜という歌がありました。番町小学校同窓会に参加して、新たな出会いをしてみませんか？事務局では、貴重なご意見・エピソードをお待ちしています。(E)

・本会は、千代田区立小学校の同窓会として、学区の町会、千代田区(学校・幼稚園・教育委員会)、在校生の保護者と教職員で構成される愛育会・愛児会と常に連携をとっています。現役の先生方や保護者の方と交流することによって、新しい情報を沢山頂きます。明治、大正、昭和、そして平成、令和へと番町はずいぶん変わりました。会報でそのことをお伝えできればいいなと思っています。

(T)

番町こども会にて

創立百五十周年記念の梅・品種「思いのまま」は、今年も夏ミカンの樹の横で思いっきり花を咲かせていました。



行事ごとに学校内の装飾を制作される 濱田英明先生

